

# 南の風

—第2号—

学校が再開し、約2か月が経とうとしています。このような状況の中でも、本校の児童生徒は日々学習活動に向き合い頑張っています。一日も早く日常が戻ることを願うばかりですが、通常の学校生活ができるようになるまで、教職員一同で子どもたちの不安に寄り添いながら、学習環境を整えていきたいと思ひます。

## 小学部 ICT 機器を使つての授業交流

7月6日から全登校日となり、児童たちは一段と学習意欲が出てきました。コロナ感染予防は続いています、新しい学校生活にも慣れ、日常の生活を取り戻しつつあります。

小学部ではICT機器を使い、繋ぐ授業を1組(教室)の学年間でを行っています。今回は、1組と2組(病棟)の3・4年生の総合の授業で行いました。



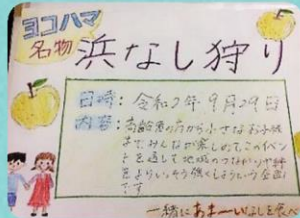
テーマは「国際理解」で、調べたい理由はいろいろとありますが、アメリカ・オーストラリア・インド等の外国が出ました。定期的に、繋ぐ授業を行っています。

今後は、1組・2組の5・6年生の総合・教科等や1・2年生の学習・交流等で繋ぐ授業を行う予定です。

1組の教室前の廊下を通つたとき、1年生教室からは「大きなかぶ」の音読の声が廊下全体に元気よく響き渡っていました。

## 中学部

### 生徒の学びの姿勢



教室での授業が再開しました。教室についたらまずは手洗い、ソーシャルディスタンスを保ちながら会話をするなど、感染予防に努めながら学習に取り組んでいます。

3年生の技術・家庭の授業では、「地域の中で、中学生の自分たちにできることを考え、ポスターを作ろう」という題材で、ポスター発表をしました。「深谷ネギの美味しさをみんなに知ってもらいたいです」や「なしの美味しさだけでなく、お祭りを通して地域の絆を深めて、災害などの非常事態にも協力できるようになってほしいです」など、深い学びを感じさせてくれる発表でした。ポスターにも工夫があり、ポイントになる点を分かりやすく示したり、イラストやオリジナルのキャラクターで表現したりと様々で、友だちの素敵な作品を評価する姿もみられました。

また、7月には1学期期末試験がありました。

いつも以上に真剣な表情で授業に臨む姿が印象的な7月でした。



## 重心部門

### 視覚的にわかりやすく楽しめる教材の工夫

重心部門では、6月に学校が再開して以来、感染予防を行いながら、児童生徒が学習できる環境をつくり、日々授業を行っています。児童生徒が生活している施設・病棟の協力を得て、居室やブレイルームに教員が訪問して授業をしています。一部の児童生徒は、施設と同じフロアにある教室に登校し、密集を避け少人数で活動をしています。授業は、教員が、児童生徒の実態に合わせて行

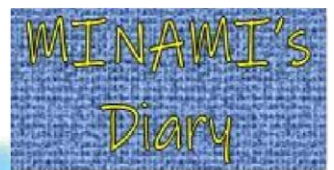


います。みんなで一緒に音楽を聴いたりお話を聞いたりする「集団授業」の時間と、個々の学習課題に取り組む「個別課題学習」の時間があります。写真は、あるグループの集団授業の風景です。『ぞうくんのさんぼ』の絵本を題材とした授業では、視覚的にわかりやすく楽しめるよう教材を工夫しています。

子どもたちも教員も、いつもとは違うペースでの授業に戸惑いながらも、学校での新しい日常に少しずつ慣れてきたところです。

## 8月の予定

8/1(土)～8/16(日) 夏季休業  
8/3(月)4(火) 個人面談(中3)  
8/13(木)14(金) 閉庁日  
8/17(月)～ 通常授業  
8/28(金) 1学期終業式  
8/31(月) 2学期始業式



横浜南養護学校の Diary ページを開設しました。本校の様子や児童生徒たちがどんな教材で勉強しているかをお届けしているので、ぜひご覧ください。

横浜南養護学校 ホームページ

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/y-minami-sh/>